

全国指導者講師講習会

指導者活用事業の企画と立案」



2011. 2. 5

戸田公園管理事務所



1. 指導者養成の課題 ～昨年度の講習より～

競技者 指導者の願い

日本のボートをもっと強く、楽しくさせたい！

**ボートの楽しさ 厳しさを最もよく知るのは
競技者たちではないか？**

だから競技経験者に資格を取って指導者になってほしい

有資格指導者を増やすにはどうしたらよいか」

問題点も含め、あなたの経験や考えを挙げてください

- 企業主体
- 文部省主体
- 底辺が小さい
- 認知されにくい競技

楽しい
クラブ化

- 縦割り/集団 - 競争意識

をめぐる

- ボートは場が限られる... 設備も必要
- 生涯スポーツとならない (¥) がかかる
- 地元に戻らない。
- 輪に入りにくい?

助けをくれる人も必要
行政の理解も

- 指導 ≠ 資格
- 指導は先輩がやるもの
- 資格なくとも勝てる。
- ボートは漕ぎたいものだ!!
- 安全確保, 対応が必要。
- 情報・認識不足 → 周知に回る

・社会人は時間がない

「資格は自分を守る」

と思わない。

・講習を
あちこち
やってくれ

- 現場は選手育成で手いっぱい
- 資格 対費用効果 七? どうなる?
↳ 活躍の場をばらばらにしたい
- 学校の先生が多い!

- メリットは? とらないと困る? 国体?
- としたらほしい情報をくれるのか?
- 指導者自身、めど可家が分からない!

【制度が抱える課題】

- 資格保有者がメリットを感じないこと

資格を持つことで何を得る？

「国体監督」の資格となる、だから？

「資格を取ろう」と思う指導者が少ないこと

【競技が抱える課題】

- できる場所が限られること
- 道具が高価であること
- 安全管理が難しいこと

「大人のスポーツ」であること

【指導者の抱える課題】

- 有資格指導者が少ないこと
 - 日本ボートとして、統一性に欠ける指導
- ボートの魅力を知らない、伝えられない
 - 学校部活動の指導者は競技経験者が少ない
- 指導者が認められにくいこと
 - 勝った指導者 代表監督になれない

日本のスポーツが「学校スポーツ」に依存していること

	指導員	人数
1	岐阜	17
2	愛知	15
3	岡山	10
4	長野、新潟、静岡	7

	コーチ	人数
1	東京	28
2	埼玉、静岡	18
3	滋賀	16
4	愛知	15
5	富山、大阪	11

課題解決への糸口

①ボート競技の特性、競技の魅力を次世代へつなぐ

- 究極の団体競技である
 - ・チームワークこそ全て
- 道具がなければできない競技である
 - ・競技ができる水域、艇・オールがある
- 誰にでも平等に勝つチャンスが与えられる
 - ・練習がものをいう競技である

この競技を「やってみたい」「やらせたい」
という根っこはどこにあるのか

それがボート競技の未来を拓く大きな鍵であることを全ての指導者が共有したい

課題解決への糸口

② 資格を取ろう、更新したい」と思わせるシステム

○資格を持つことにメリットがある 時間をかけ、費用をかけてでも)

- ・ハード的な利益がある・・・ 栄ノ褒章」が与えられる
- ・ソフト的な利益がある・・・ 考え・アイデア」が与えられる
- ・社会的に認められる・・・ 日本代表コーチになれる、会社の公休対象となる

現在の更新講習にメリットはあるのか
を考えておきたい

課題解決への糸口

③競技者が指導者となるシステム

- 指導者になることにメリットがある ①
- 水域を「ファミリーと捉え、支えている」支えられている」意識を持たせる
指導対象、指導機会を増やす
- ・水域の有資格指導者をいずれかのアドバイザーとして一定期間、所属させる
- 一人一役、講習会の講師として得意分野の講座を担当する
(例)コーチ、一般向けボート教室、市民レガッタの運営、講習会講師

「学校スポーツ」で育ったのだから

「学校スポーツ」に還元する

現行の「学校スポーツ」の枠を超えられるのであれば別の方策も?!

課題解決への糸口

④特異な競技であることを利点に換える

○ボートができる水域ならでの経験者率を上げる

○必要な道具が揃っていることを最大限利用する

・小学校の宿泊体験に取り入れてもらう

・市民レガッタの改善

例)水域を抱える全ての小学生にボート経験を、
市民レガッタに「子ども部門」を

大人のスポーツ」から 大人が支える

スポーツ」への転換

ボートの人たちは紳士だ」 「この人たちに預けたい」と思わせる

3. 他競技に見るジュニアの強化

ア) トップ選手を集める場合

- フィギア 全国の有望選手を集めた練習会
1期生が荒川静香
- 市町村駅伝 各市町村の優秀選手を集めた大会
箱根駅伝出場の選手
- 卓球 全日本選手権に小学生出場枠

ニュースがわからん!



フィギュア日本勢はなぜ強いのか?

ここ10年の日本の世界選手権メダリスト



年	男子	女子
2001年		
02	銅 本田武史	銅 村主章枝
03	銅 本田武史	銅 村主章枝
04		金 荒川静香
05		
06		銀 村主章枝
07	銀 高橋大輔	金 安藤美姫
		銀 浅田真央
08		金 浅田真央
09		銅 安藤美姫
10	金 高橋大輔	金 浅田真央

The Asahi Shimbun

コブク郎 フィギュアスケート の全日本選手権はすこやかに終わったね。

A 小塚崇彦選手と安藤美姫選手が優勝。浅田真央選手もやっと復調したみたいで2位に入ったね。

コ 来年3月に東京である世界選手権が楽しみだね。

A 浅田選手と高橋大輔選手には連覇がかかっているんだ。日本勢はここ10シーズンの世界選手権で、延べ13人が

最終エントリーは29日、1〜10区まで区間ごと発表される。10日のリストは各チーム16人。実際には箱根を走れない選手も出てくるが、まずは

市町対抗戦」と、すかざり返ってきた。ここの11回を数えたから小学生区間が設けられた。大学3、4年生は当

時小学校5、6年生。18人箱根にまつわる話題をのち4人が第1回大会にエントリーしていた。本部長距離の強化も狙いに誕生した大会。18人の大半は中学や高校時代の仁科徳将(常葉橋高出)の4人。5分の1を占め

表彰台に上がった。すごい活躍ぶりだね。

コ どうしてこんなに強くなつたんだろう。

A 日本スケート連盟が1991年から始めた「有望新人発掘合宿」が大きいと言われている。89年の世界選手権で日本初の金メダルを獲得した伊藤みどりさんに続く選手を探し出そうと始まったんだ。その1期生が、2006年トリノ五輪で金メダルをと

が出ている」との言葉にもうなずいてしまった。もう一つの驚きは「主将」である。20チームのうち本県関係選手が主将を務めるのは5区を走った。

たここに正直たまげた。大石は2、3年と山の上りの5区を担当、前回は区間3位の好成績を挙げた。小林は前回は出番はなかったが、前々回にや

わけてはない。早大野球部の斎藤佑樹ではないが、選ばれるには走力がある。まとめる力があるなど、やはり「何かを持っている」からこそだ。

早大の3冠か、東洋大のV3か、「新山の神」柏原は1と今回も話題の多い箱根。そこに一人で多くの県勢の走りを見たいと思いが募る。

まずは29日の登録選手発表を待ち受けた。(編集委員・宮下修)

91年からの新人発掘合宿の効果とも言われるよ

コ アジアの選手もがんばっているよ。

A 昨冬のバンクーバー五輪で金メダルに輝いた韓国の金妍児選手が有名だね。両親が日本人で日米両国の国籍を持つ長洲未来選手も4位に入った。アジア系の特徴と言われる「ジャンプに向けた小柄な体や、勤勉な生活スタイル」を強さの秘密と説明する人もいる。

コ 日本の快進撃はまだ続くかな。

A 昨季の世界ジュニア選手権では、女子が村上佳菜子選手、男子は羽生結弦選手という中学生コンビ(当時)が優勝した。フレッシュな選手が次々と出てくるから、まだまだ続くだろうね。

(坂上武司)

エントリー表を見て驚いた。同時に、ますます楽しみになった。

来年1月2、3日に開催される東京箱根間往復大学駅伝(箱根駅伝)。

10日発表された20チームの第1弾リストには18人の本県関係選手が名を連ねた。前回

は10人、前は17人、その前は5人。確実に増えて

箱根駅伝

楽しみな県勢選手の走り

最終エントリーは29日、1〜10区まで区間ごと発表される。10日のリストは各チーム16人。実際には箱根を走れない選手も出てくるが、まずは

市町対抗戦」と、すかざり返ってきた。ここの11回を数えたから小学生区間が設けられた。大学3、4年生は当

時小学校5、6年生。18人箱根にまつわる話題をのち4人が第1回大会にエントリーしていた。本部長距離の強化も狙いに誕生した大会。18人の大半は中学や高校時代の仁科徳将(常葉橋高出)の4人。5分の1を占め

表彰台に上がった。すごい活躍ぶりだね。

コ どうしてこんなに強くなつたんだろう。

A 日本スケート連盟が1991年から始めた「有望新人発掘合宿」が大きいと言われている。89年の世界選手権で日本初の金メダルを獲得した伊藤みどりさんに続く選手を探し出そうと始まったんだ。その1期生が、2006年トリノ五輪で金メダルをと

が出ている」との言葉にもうなずいてしまった。もう一つの驚きは「主将」である。20チームのうち本県関係選手が主将を務めるのは5区を走った。

たここに正直たまげた。大石は2、3年と山の上りの5区を担当、前回は区間3位の好成績を挙げた。小林は前回は出番はなかったが、前々回にや

わけてはない。早大野球部の斎藤佑樹ではないが、選ばれるには走力がある。まとめる力があるなど、やはり「何かを持っている」からこそだ。

早大の3冠か、東洋大のV3か、「新山の神」柏原は1と今回も話題の多い箱根。そこに一人で多くの県勢の走りを見たいと思いが募る。

まずは29日の登録選手発表を待ち受けた。(編集委員・宮下修)

3. 他競技に見るジュニアの強化

イ) ジュニア競技人口を増やす場合

- フェンシング
- 体操

ウ) エリート教育で育てる場合

- サッカー JFAアカデミー福島
- 卓球 JOCエリートアカデミー 5人+9人
- レスリング // 4人+7人
- フェンシング // 0人+3人

3. 他競技に見るジュニアの強化【ボートは？】

ア) トップ選手を集める :全国中学選抜(1x)大会

- 平成19年～ 今年で5年目…1期生は大学1年)
- 日本ボート協会として手を打っているわけではない

イ) ジュニア競技人口を増やす :各地のボート教室

- 「人口増大」はマスターズ人口か？

ウ) エリート教育 :?

- 高体連のU-19合宿はこれに当たるか？
- タレント発掘事業 (全国16～17都道府県)か？

4. 各競技のレベルとジュニアの活動

a) 世界に通用している競技

- | | |
|------------|----------|
| • 柔道 | 道場 |
| • 水泳 | スイングスクール |
| • 体操 | クラブ |
| • フィギアスケート | リンク |
| • レスリング | |
| • スピードスケート | |
| • サッカー | クラブ |
| • ソフトボール | |

個人種目

団体

5. ボートが抱える課題

- 人口増大はマスターズ世代なのか？
ジュニア世代を指すのでは？
- ジュニア世代は増えているのか？
中学は増加、その下は？その上は？
- ジュニアから始めると何が違うのか？
中学指導者の考え、選手の実感
- 指導者は何を重点にやっているのか？
上の世代(中 高 大)へ生きている？
- 企業、学校スポーツの危機
部活動の衰退とクラブの台頭
- 選手はどう感じているか？
- ボート競技の「売り」は？

6. 今後の展望①【日本の戦略・プラン】

「競技者育成プラン」「ロードプラン」：オリンピックでメダルを！

1. 人口増大 :オリンピックで戦う選手をどう育てるか？
未来あるジュニアをどう増やすか？何を指導すべきか？
2. 強化の方針 :年代別の課題は何か？
各年代までに何を目指すのか？指針となるものは？
3. 指導者養成 :資格保有するとどうなりますか？メリットは？
国体に関係しない人たちは資格がなくても問題ない？
4. 公益法人化 :支援してもらおう方策は？支援側のメリットは？
「支援すると協会は何をしてくれませんか？」選手に、社会に

【参考】ラグビートップリーグの取り組み

なぜ、『満員の国立競技場』をサッカーの座に奪われたのか？

企業が果たすべき社会的責任を「スポーツ」に求めよう

- 企業への期待は「社会貢献」
- チーム自体が企業の「ブランド」のひとつ
- 『For All』:ラグビー固有の精神を表した象徴
- トップリーグ = 強化 & 普及の推進役を担う
- 「愛される存在」=存在価値を高める唯一の方法
「愛されない」=チームの消滅につながる

当たり前に行っていることを世の中に伝えることから始めよう

【参考】ラグビートップリーグの取り組み

当たり前に行っていることとは？ 『For All』のSpiritとは？

- 「ありがとう」といえること
- 「仲間」をつくること
- 「フェアプレイ」を守ること
- 「応援」すること
- 「お手本」になること
- 「握手」を力いっぱいすること

「Shake Hand」キャンペーン
ラグビー教室
オールスター チャリティマッチ

【参考】その他の競技の取り組み

コニカ・ミルタ 「ランニングプロジェクト」

陸上部が培ってきたノウハウをネットやイベントを通じて一般ランナーに広める

サントリー 「イエローフラッグ プロジェクト」

小学生向けのラグビー教室、日本脊髄基金のチャリティーへの参加、選手の子ども時代の体験談を青少年の教育に

JOMO 「バスケットクリニック」

引退した選手が全国の中学校を巡回指導

いずれも 「その競技の価値を高める」活動を中心に据えている

6. 今後の展望② 【ボートの 売り」と育成】

「競技者育成プラン」「ゴールドプラン」:オリンピックでメダルを!

①ボート競技の特性、競技の魅力を次世代へつなぐ

この競技を「やってみたい」「やらせたい」という根っこはどこにあるのか

②特異な競技であることを利点に換える

「ボートの人たちは紳士だ」「この人たちに預けたい」と思わせるには

③競技者が指導者となるシステム

この競技の楽しさ、おもしろさを伝えるには経験した人が最適ではないか

共通理解を得るために「有資格」指導者を増やしたい

6. 今後の展望② 【ボートの 売り」と育成】

競技者育成プラン 第2版」(2007年10月)より

理念

最高の漕艇人を育て、その人的価値を以って日本社会に貢献すること

最高の漕艇人とは

漕艇人 :オアズパーソン (オアズマン/オアズウーマン) シップを有する人材

オアズパーソンシップとは :

3つのF (Fair Play Spirit/Friendship/Fighting Spirit)の要素

Fair Play :努力を尊ぶ精神

たがいに尊敬しあい、常に自らの持てる最高を表現する精神

Friendship :チームスピリット

ローイングファミリーの成員としてのよろこび

ネイチャー・フレンドリーの精神

Fighting Spirit :あらゆるレベルでの競技力向上

向上へのあくなき追求

勝利 (≒努力して壁を乗り越えること)への飽くなき探求

現行版には
記載がない!